



"ぐる~っと" ようてい

学ぼう!SDGs

～みんなで考える世界の目標～

第11回 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

～レジリエントなインフラを整備し、包摶的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る～

「レジリエント」は強靭・しなやかさ、「インフラ」は上下水道や道路、通信施設などの公共的な設備、「イノベーション」は新しい活用法のことを指します。低所得国をはじめ多くのアフリカ諸国では、インフラが整備されていないために企業の生産性が約40%損なわれています。持続可能な開発には、持続可能な産業が欠かせません。

わたしたちができる身近な取り組み

■寄付や募金で支援しよう!

持続可能な産業発展において、その基盤となる水道・電気・インターネットの整備は不可欠です。しかし、世界には約26億人が不安定な電力の中で生活し、約8億人が安定した水資源を得られない状態にあるのです。インフラの整備には国家レベルだけでなく、民間レベルでも支援が必要となってきます。そこで、わたしたちができる取り組みの一つに「寄付・募金」があります。数十円、数百円と少額からでも可能なので、わたしたちも無理のない範囲で支援することができます。

■現状を知り、わたしたちができるることを考えよう!

インフラが整備されていないことで、どんな問題が起きているのでしょうか。企業の生産性に影響が出るほか、そもそも安定・安全な生活を送れない、不衛生な環境など公衆衛生にも問題が生じるなど、生活水準の低下につながってしまいます。また、世界には安全な水を安定的に得られない地域がいくつもあり、毎日の水の確保が重労働で、経済活動の妨げや子どもたちの教育の機会を奪うことにもなっているのです。現状を把握し、わたしたちが今できることを積極的に行っていくことが明るい未来への第一歩になります。

JAようてい職員が考えるSDGs関連事業

JAようていの

「産業と技術革新の基盤をつくろう」

- ・R T K 基地局の設置によるトラクター自動操舵に係る対応
- ・ドローンの操縦免許及び機体取りまとめ
- ・スマート農業技術の情報収集・活用
- ・ペーパーレスの実施
- ・共選施設の自動選別・パレタイザー等の活用

今後取り組むべき

「産業と技術革新の基盤をつくろう」

- ・ロボトラ（無人トラクター）の普及推進
- ・共選施設の少人数化
- ・I C T 先進技術の試験協力
- ・無人店舗の検討
- ・スマート農業の活用

参考：「時間でよくわかるSDGsと協同組合」
持続可能な開発目標・SDGsの目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」のターゲットや現状は？
(https://gooddo.jp/magazine/sdgs_2030/industry_inovation_sdgs/)